

街道をあるく



昔から人とモノが行き交う道。そこでは、数多の歴史や文化が生まれ、今に伝える文化財が現存しています。本シリーズでは街道を中心に、守山に残る文化財の魅力を紹介しします(隔月掲載)。

岡文化財保護課 ☎(582)1156 ☎(582)9441

中山道守山宿(守山二丁目)

宿場町を彩る道標

現在も交通のための道路標識や案内板があるように、古くは行き交う人々のために「道標」といわれるものが数多く建てられました。写真の道標は、江戸時代の五街道の一つである中山道を今宿から吉身方面に歩いて、東門院を通過するあたりで突き当たる、分かれ道の道路脇に立っています。

道標の表面をみると一面に「右 中山道 并 美濃路」と刻まれています。これは文字通り、右に行けば、中山道、そして脇往還(五街道以外の主要街道)である美濃路に至ることを示しています。

別の面には「左 錦織寺四十五丁 此乃者満三」と刻まれています。これは左に進むと錦織寺(野洲市)に至り、さらに湖岸の「此乃者満三」(木浜道)へ通ずることを示しています。

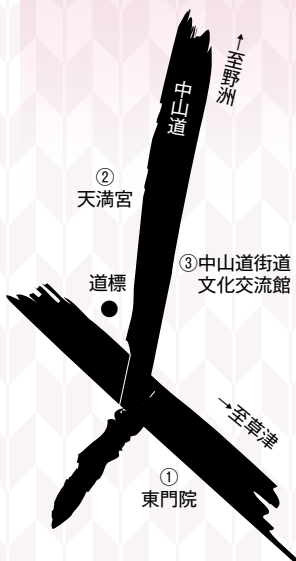
錦織寺は、浄土真宗の開祖・親鸞が滞在した寺院で真宗木辺派の本山です。ちなみに道標の裏面二面には「延享元年甲子年霜月 願主釋宗有/釋淨圓/釋祐壽」、「江州大津西念寺/京大坂江戸大津 講中建之」とあって、延享元(一七七四)年に西念寺(大津市)の講中(信者たち)によって建立されたことが分かります。行き交う旅人に向けた道しるべであるとともに、参拝の手引きでもあったわけですね。

制作年が明らかなく、市内でも有数の古い道標であるため、市指定の文化財となっていています。



Let's Walking history

周辺のおすすめスポット



②天満宮



①東門院

元は東門院の境内地に所在したという。祭神は菅原道真。所有する「三十六歌仙絵」は市指定文化財。

守山宿の歴史・文化を伝える拠点施設。町家を改修した展示ギャラリーで、天満宮の三十六歌仙絵も公開している。



③中山道街道文化交流館

天台宗の開祖・最澄が開いた寺院。本尊は十一面観音。護摩堂に安置される不動明王坐像は全国でも有数の大きさを誇り、脇侍の二童子像とともに国の重要文化財に指定されている。ほか多数の指定文化財がある。